

# みどりの地球

平和と幸せを届けるために…

2026年6月3日  
横浜市立旭中学校  
第2学年通信 No.2  
2学年職員一同  
発行:

## 学級目標紹介

2学年目標

きざく  
築く

～他者とふれあい、自分を見つめ動く～

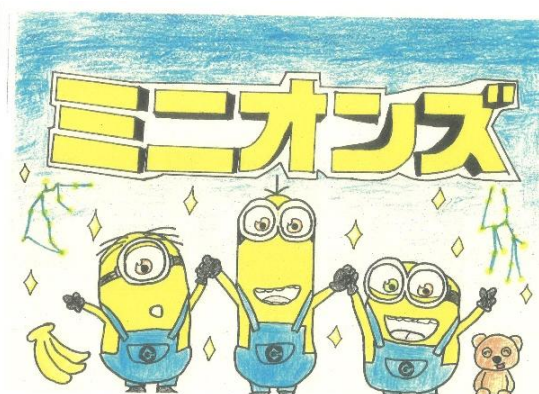
各クラスで学級目標が決まりました。どのクラスも学年目標を念頭に置きながら、一人ひとりが意見を出し合い、言葉に込められた意味を深く考える中で話し合いを重ねてきました。その結果、それぞれのクラスの思いがしっかりと込められた目標を決めることができました。この目標の元、1年間かけて、素敵なクラスを創っていきましょう!



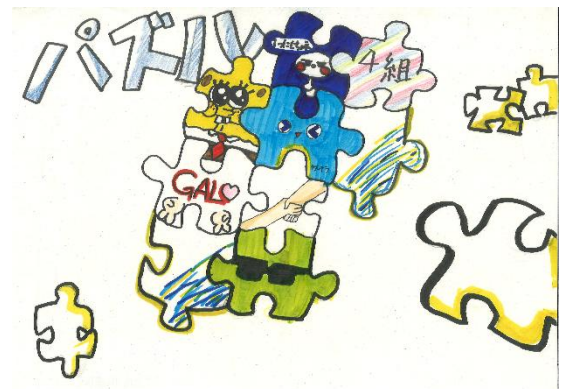
2-1:利他の達人～one for all, all for one～



2-2:四つ葉のクローバー



2-3:ミニオンズ



4組:パズル

## 【各クラスの学級目標の由来】

1組	全員が思いやりの気持ちを持ち、全員が困っている人に手を差し伸べられるような想ふれるクラス
2組	全力、仲良く、楽しく、積極性
3組	個性を大事に協力する、星々が集まって形を創る星座の意味も込めている。
4組	一人ひとりの個性を生かして協力できるクラスを目指す。

## 自然教室で学んだことは？

自然教室に行く前の結団式で、副班長代表がこんな話をしました。

「私達、副班長は、この自然教室」がみんなにとって最高の思い出になるようにサポートします。私達の仕事は、大きく分けて二つあります。一つ目は、「班のみんなが安心して過ごせるように支えること」です。班長さんの補佐をしながら、決まりを守れているか確認し声をかけ、しおりの回収や配付、おやつ管理などを責任もって行います。みんなが戸狩での三日間を安心して楽しく過ごせるように、一人ひとりの様子に気を配ります。二つ目は、「思い出を形にし、お世話になった方々に感謝を伝えること」です。周りの人達と積極的にコミュニケーションをとって、クラスの仲間や宿の方との仲を深めるように努力します。また、皆さんに協力していただいた自己紹介状や寄せ書き、帰ってきた後のお礼状の作成を通して、お世話になる方々への感謝の気持ちを伝えます。皆さんが、楽しく三日間を過ごせるように、支えていきます。ご協力をよろしくお願いします。」

そして自然教室から帰って来た翌日の解団式で、実行委員長がこんな話をしました。

「この戸狩での3日間で感じたことが3つあります。1つ目は、自然とふれあうことの大切さです。僕たちはデジタルで便利な生活が当たり前の世界で生きていますが、たった3日間でもそこから離れることで自分達の生活を見つめ直すことが出来ました。自然のもつ力や素晴らしさに気付くことが出来ました。2つ目は、新しい環境を楽しむことです。僕たちは小中9年間ほぼ同じ環境ですが、新しい人と関わることで人の素晴らしさに気付き、新しい絆を育むことが出来ました。3つ目は、物や人への感謝です。田植えや箸作りを通して、いつも僕たちが食べたり使ったりしている物に、人の「思い」や「工夫」が込められていることを実感することが出来ました。僕が感じたことは大きくこの3つですが、参加したみんなもこの出会いや体験を通して多くのことを感じ、学びとったと思います。この特別な3日間を大切に、思いやりのある最高の緑学年を築いていきましょう。支えてくださった戸狩の方々、保護者の方々、先生方、本当にありがとうございました！！」

二人の言葉を改めて読み返し、生徒の皆さんから学ぶことがたくさんあると感じました。長野の豊かな自然や美しい風景、ゆったりと流れる時間、そして温かい宿の方々との触れあいの中で、ルールを守ることの大切さや、自分の周りにいる人々や自然の恵みに感謝する心を育んだことと思います。また、協力や協調を通して生まれる信頼の大切さも学んだことでしょう。これらの経験を糧に、皆さんが今後さらに成長していくことを期待しています。

# 学習発表会

7月15日(水) 5時間目 13:15~14:05

2年1組教室：1組1班・3班・2組2班・3組4班

2年2組教室：1組4班・2組1班・3班・3組2班

2年3組教室：1組2班・2組4班・3組1班・3班

自然教室の事後学習として、宿の方へのお礼の手紙を書きました。便箋いっぱいには皆さんの宿の方への感謝の気持ちが綴られていました。それぞれがちょっとしたエピソードなどを書いていたので、宿の方もお手紙を読みながら、皆さんの顔を思い浮かべてくださることと思います。

また、今は、自然教室の思い出をスライドにまとめ、発表をする準備をしています。どの班も思い出がいっぱいで、伝えたい事が多すぎて、絞り込むことが大変そうです。班ごとに楽しそうに分担をしながら、作業を進めているところです。6月18日(木)の事前練習発表会と合わせて、全ての班の発表を皆さんは、観て聴くことができます。7月15日(水)当日は、保護者の方にもぜひ観にきていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

保護者の皆様へ

このたびは、自然教室の実施にあたりご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、3日間の活動を全て行うことができ、皆元気に帰校することができました。子どもたちは、自然の中で仲間と関わりながら、多くの経験を重ね、心身ともに成長した様子が見られました。これもひとえに、保護者の皆様の温かいご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

さて、今回の活動に際しまして、約束を守れなかったことがありました。安全面などを考え、ご家庭でご判断いただいたこともあったかと拝察いたします。

一方で、宿泊を伴う集団活動においては、子どもたちが目の前の体験や仲間との関わりにしっかり向き合うこと、そして全員が同じ約束のもとで安心して過ごすことを大切にしています。そのため、トラブル防止の観点からも、学校で定めたルールについては、ご理解とご協力をいただけますと幸いです。ルールを守ることの意味について考えることも、子どもたちにとって大切な学びの一つだと考えております。ご家庭でも話題にしてみてくださいとありがたく存じます。

来年度の修学旅行におきましても、同様の約束を設ける予定です。今回の経験を生かし、よりよい行事となるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 自然教室写真あれこれ



### 生徒たちの感想より

- 自然教室では、自然と触れ合う大切さ、新しい環境を楽しむこと、人や物への感謝など、今までの自分たちの生活が当たり前ではないことを学べた。
- 自然の素晴らしさや、役割分担の大切さ、周りが動かない時は気付いた人が動くなど、集団での過ごし方を学べたから、これからも積極的に行動していきたい。
- 自然教室でスマホや SNS がない中、自然と触れ合い、いつもだったら分からないことをスマホに頼ってばかりだったけれど、自分で考えることを学びました。
- 宿の方々から、人のために行動することの大切さを、改めて学ばせてもらったから、これからは、学級目標を意識して、相手のことを思いやる行動をしたい。

### 優先順位を考えて計画的に生活を！

体育祭、6月テスト、個別面談と夏休み前までも盛りだくさんです。忙しい中で、皆さんは優先順位を考えて計画的に生活をしていますか？大人になっても、やるべきことは、たくさんあります。特に、期限があるもの、自分がやらないと周りに迷惑をかけるものは、最優先にやらなければなりません。昨年の永松先生のコップの中の砂の実験を思い出してみてください。やるべきことからやると、コップの中に砂は全て入りましたよね。今から少しずつ、優先順位を考えて、計画的に物事に取り組む力をつけていきましょう。